



『活きていることわざ』

船橋市議会議員

神田 廣栄 (かんだひろえい) 議会報告

【事務所】船橋市前原西8-24-8 ☎490-3333 FAX 465-7117

Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp

ホームページ http://www.hiroei.jp

言い勝ち高名(か)ち高名(こうみょう)。戦々競々(せんせんきょうきょう)

【言い勝ち高名】◇ことば数の多いものが勝つ、ということ。

【戦々競々】◇恐れおののいて、身をすくめているようす。恐れてびくびくしているようす。

・「戦々」は恐れおののく。「競々」は慎む。「恐々」でもいい。

いよいよ待ちに待った春の到来です。私は、新潟で育った18年間に染み付いた、毎日続く鉛色の空が思い出され、あまり冬が好きではありませんので、この時期が格別に嬉しく感じられます。春の訪れとともに2月27日から平成20年度の予算を審議する3月議会が始まりました。私は会派を代表して予算特別委員として積極的に審議・発言してまいります。今号は前回掲載できなかった12月議会の質問を報告をします。

①公園を花いっぱい

この議会で、ある議員が私の事務所近くにある飯山満南公園についての質問をされました。「公園の遊び場所を狭くする無断設置の花壇を撤去せよ」というものです。この文言だけ見るとその主張は当然のことです。

しかし、私はこの花壇を設置した側から「この花壇は、市制施行70周年記念の緑化フェアに伴い申請し設置したものだ」と言われ、確認したところ、この公園ができた時から樹木の回りをブロックで一段高く囲ってあり、その中に花壇を作ったものですから、何ら遊び場所を狭くするものではありません。また、別の場所に作ったものは、市から「他の場所から移動してもいい」と言われ設置したものです。この場所は遊び場所ではなく、樹木が植えられている緑地帯のような場所ですから、何ら問題ありません。

これは他の公園での話ですが、犬や猫に汚されないように砂場に掛けてあるネットに落葉があり「ネットの落葉を掃除してくれ」と市に電話があったそうです。秋ですから落葉は当然あるものであり、そんなことでもいちいち電話する人がいるという話もしながら、『言い勝ち高名』では済まされません、わがままな市民等の声に職員は毅然(きぜん)と断ったり、論(ろん)すものだと要望しました。



花は心を
和ませます

落ち葉を
掃除して!



②教員が本来の仕事ができません

ADHD（注意欠陥多動性障害：発達障害のひとつで、落ち着きがなく動き回り衝動的に行動することが強く見られる）の児童で悩んでいる、市内の小学校を視察しました。教室には入らず廊下を走り回り、無人の職員室でコピー機をいじったり、校舎の外に出ては石を投げたり車を傷つけることもあります。特に危険なのは、ベランダに出て身を乗り出すことです。



この児童には担任の先生、校長や教頭の管理職が後退で面倒を見ています。専門の職員の配置がなされていないのです。万一事故が起こったら管理責任が問われます。

担任の先生は、他の子供達の教育もしなければなりませんし、管理職はそれぞれ多忙の中で付き添ったりしています。一寸でも眼を離すと何をするか分かりません。現場の先生方の苦勞がよく理解できました。

何故このような子供が普通学校に入学しているかと言いますと、入学前に検討する「就学指導委員会」というものがあり、そこで「この子は普通学校より特別支援学校がいいのでは」と保護者に話しても、「絶対普通学校に入れたい」と言われると否定できないのだそうです。

私はその就学指導委員会にもっと強制力を持たせるべきではないか、また、現在入学している児童がいる以上、その子が卒業するまでは、その子と周辺の子供のためにも、また管理職には相当の仕事ができるように、専門の担当職員を配置すべきと思うかどうか、と尋ねました。



無理難題はダメ

さらに、自分の子供を大切に可愛がるのは結構ですが、学校に「うちの子供をリレーの選手にさせろ」等と学校に1週間も電話を掛け続ける保護者がいる等の報道があるが、このような理不尽な保護者に対応ばかりし、いつも『戦々兢兢』としていては、先生として本来の仕事ができないばかりか、精神的にまいってしまう。

このような自分勝手な保護者に対抗するために、法律に明るい専門的な人的配置をすとか、教育委員会の顧問弁護士を置いて対応してはどうか、将来的にはモンスターペアレンツの抑止力にもなるのではないかと回答を求めました。

— 学校教育部長の答弁 —

- ◇保護者が強く通常の学校への入学を希望する場合は、入学日を過ぎても児童生徒が入学する学校がないという事態を避けるため、校長に通常の学校への入学をお願いしている。今後とも保護者の希望を聞きながら適正な就学指導に努めていく。
- ◇ADHDの児童に対しては、実態を把握し学校側と協議をするとともに、巡回相談員や学生ボランティアを派遣して支援している。今後有効な支援を行いたい。
- ◇学校への理不尽な要求や抗議を行う保護者に、学校だけで対応が困難な場合には、積極的に学校と関わり、関係機関との連携を深め学校を支援していく。



こんなことにならないようにお願いします